



【発行】**重国たけし**
日本共産党狛江市議予定候補、
党狛江市環境・まちづくり推進室長
【連絡先】 ☎ 090-1775-9052
mail : sigeny@nifty.com

有機フッ素化合物（PFAS）地下水汚染問題

狛江でも地下水から基準値越えの値を検出 急がれる実態解明



4月11日のNHK「クローズアップ現代」でも放送された地下水の有機フッ素化合物（PFAS）汚染の対策が急がれます。環境省の資料「PFASに対する総合戦略検討専門家会議（第2回）議事次第・配付資料―水・土壌・地盤・海洋環境の保全」によると、2021年度の調査結果では地下水43地点の基準超過のうち約半数は東京都内です。狛江でも、一

あたり410ナノグラムなどの暫定基準値の50ナノグラムを大きく超える高い値が検出されています（狛江市では3カ所の井戸から基準値越えを検出）。※狛江市の410名のナノグラムについては、「クローズアップ現代」番組中では報道されませんが、番組ホームページの資料には掲載されています。

この調査では、高いほうから、立川市（640ナノグラム）、調布市（460ナノグラム）、府中市（450ナノグラム）につづき、狛江市（410ナノグラム）は21年9月計測と、が示されています。東京都は、水道水は基準値を大きく下回る値であることを確認していること、また、基準値を超える値の検出された井戸は取水停止の措置をとっているとしています。その原因については解明されていません。

東京都に要請する重国たけし予定候補（2月3日）

3年、1月、20日、リットルあたり79ナノグラム（泉本町）

実態把握と対応が必要です。

重国たけしは、2月と3月に、日本共産党東京都議団の都庁交渉、党国会議員団の環境省交渉に参加し、実態解明と対策を求めてきました。また、4月5日には環境政策課に狛江市としても実態把握と市民への情報提供を積極的に行うよう求めました。公害問題・環境問題は重国たけしのライフワークでもあります。引き続き、取り組んでいきます。

「ご意見や情報等がありましたら、お寄せください。」

PFAS (有機フッ素化合物)

による



地下水・水道水汚染から

市民の命と健康を守ります 日本共産党

多摩地域—— 水道の井戸水から多数検出

発がん性、妊婦の生殖への影響、低出生体重などの可能性が指摘される有機フッ素化合物(PFAS)が、多摩地域で水道水に使われる井戸水から広範に検出されていることが明らかになっています。東京都水道局の調査によると多摩地域の30市町村のうち21自治体40浄水場に広がっており、すでに11の浄水施設、34本の井戸で取水が停止されていることが報道されています。

PFASって何？

PFASは撥水加工などで多くの製品に使用されているほか、航空事故の泡消火剤としても使用され、化学工場や米軍基地周辺で深刻な汚染が見つかっています。



東京都水道局による調査で、何らかの濃度でPFASが検出された浄水所（『東京民報』2022年12月25日号より）

国、都は汚染拡大の防止 健康を守る手立てを

PFASは、自然界でほとんど分解されないため、長期にわたる人体への影響が懸念されます。地域住民の不安が広がり、血液検査などの取り組みも行われていますが、国、都として汚染の拡大を防ぎ、健康被害から住民を守るための手立てを取るべきです。

対国や都に
声をあげる



日本共産党の市区町村議員は、山添拓、吉良よし子参院議員らと国に説明を求めました。

水の安全・安心へ 日本共産党は提案します

- 水源の井戸水を定期調査し、PFASが検出されている水源井戸は運用、取水を停止すること。やむなく使用する場合でもできる限りPFASを除去すること
- 都水道局所管の上水用地下水だけでなく、災害用井戸、農業用井戸、飲用に供する井戸などについても調査を行い、必要な手立てを取ること
- PFASによる地下水汚染の原因調査を行うこと。特に恒常的に泡消火剤による消火訓練を行ってきた横田基地周辺を調査すること
- 国や都として大規模なPFASの血中濃度の疫学的調査を行うこと。PFASについての情報提供と注意喚起を行うとともに、汚染についての調査結果も情報提供を徹底すること。



党狛江市 気候危機打開・SDGsまちづくり推進室長 市議予定候補

重国 たけし

しげくに・毅